省エネ お助け隊

一般社団法人富山ふるさと省エネ協会

支援対象地域：富山県

特徴と得意領域（対応可能な再エネ支援：太陽光 バイオマス 地熱）

省エネ支援における電気・熱分野の専門家に加えて、地元金融機関及び商工会議所にて地元中小企業の経営支援を行ってきた専門家も在籍しており、省エネと経営の幅広い視点からの提案を得意とする。

富山県内の自治体等・金融機関とも連携し、省エネ啓発活動、省エネ診断、省エネセミナーなどの実施を通じて、脱炭素経営や省エネルギーの普及に向けた活動に取り組んでいる。

➢ **過年度事業参加実績　令和2年度～令和4年度にかけ3箇年参加　延べ支援者数22者**

過年度事業における支援事例

省エネ診断結果に基づき、フォローアップの実施・具体的な設備改善の提案と運用状況調査

コンクリート二次製品の製造工場より、コンクリート養生時に使用する蒸気養生室の蒸気漏れについて相談を受け省エネ診断を実施した。蒸気による過酷環境と設備の老朽化による大量の蒸気漏れが発生していることを確認し、設備投資改善によるエネルギー削減の提案を行った。その後、富山県のビヨンドコロナ補助金・生産性向上枠への設備導入補助金申請を行い、令和5年9月頃採択結果が出るため、採択され次第実行する予定。

蒸気養生室漏れ状況調査

エネルギーコスト
666.8万円/年
削減見込み

省エネ診断を実施し、設備更新以外の面で実施効果の高い省エネ対策を策定

令和4年に加熱炉を使って製品製造をしている機械加工工場より設備の運用改善について相談を受け、省エネ診断を実施。

メインのエネルギー使用先である高周波誘導加熱炉の、操業時における熱の放出が課題であることが分かった。現場現認と担当者へのヒアリングを行い、炉蓋の使用頻度を高め、放出する熱の削減を図ることを提案。翌年（令和5年度）、炉蓋使用による省エネ改善を実施中。

また、空調室外機の移設による空調効率改善、冷却水ポンプのインバーター化による効率運転化、エアー漏れ低減によるコンプレッサーの省エネも併せて実施中。

高周波誘導加熱炉の溶解ポット調査

エネルギーコスト
1,177.4万円/年
削減見込み

事業者概要

- 電話番号　:076-552-1080
- 受付時間　:8:00～17:00（平日のみ）
- E-MAIL　:furusato@toyama-eco.jp
- 担当者名　:代表理事　九里

世界のエネルギー問題と地球環境の問題に取り組むことを目的とし、省エネ及び温室効果ガス削減の調査ならびに研究活動を行うために、令和2年に設立。今年で4年目を迎えた。

令和5年度より脱炭素経営のコンサルティングも開始し、2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みを加速化させる。

➢ 事業活用可能ネットワーク

《自治体》

✓ 富山県 生活環境文化部 環境政策課
✓ 立山町 美しいまちづくり推進室 まちづくり係

《金融機関》

✓ 北陸銀行、富山信用金庫　にいかわ信用金庫

➢ 省エネ関連事業

《省エネ関連事業》

✓ 地元事業者を対象とした省エネプランニング事業（令和2年度から計15回実施）
✓ 補助金コンサル事業
✓ 省エネ補助金活用セミナーの開催（令和2年度から計4回実施）
✓ 脱炭素ファシリテーターよる脱炭素カードゲームの開催

カードゲーム [2050カーボンニュートラル]

支援事例・セミナー情報等の詳細については、WEBサイト「省エネお助け隊ポータル」に掲載されています。

詳しくは、省エネお助け隊ポータル　または　https://www.shoene-portal.jp/